

# 校長室つれづれ言葉

## 「悩みを糧に」

これから先の進路がみえない。  
思っているような結果が出ない。  
相手の考えが分からない。



目を閉じて、悶々としていると、不安が大きくなってきますね。  
「なるようにしかならない」と思っても、すっきりしないことがありますね。  
いろいろと思いを巡らせていくと、深みにはまってしまいますね。

迷うということは

例えば、Aを選ぶかBを選ぶか、つまり、半々ということで、悩むのでしょうか。  
一方に決まっていたら、悩む必要はあまりありませんね。  
半々だから、悩む。仮に、選んだとしても、51対49の割合で判断する場合もあるでしょう。  
そう考えると、どちらを選んでも、、、という気がしますが、、、  
人と相談したり、選ぶ根拠となるものを見つけたりして、、、判断したいものですね。  
人に頼ることができる人って、「自立している人」と書いてある本もありましたよ。

結果が思わしくなくても

ものごとは常に変化していくので、それは一時の痛みと捉え、  
「失敗は成功のもと」と考え  
このことがあってよかったと言える人に成長していきたいものですね。  
そう考えると、「失敗」ということはないのではないかとも考えられます。

相手のことを気にしすぎて

思うような行動ができなければ、自分で自分を責めることになるのではないのでしょうか。  
人は、人と人との関係の中で生活しているので、  
自分で自分をコントロールすることは必要ですね。  
自分の道は自分でしか歩めない、代わってくれる人もいませんね。  
だから、自分で考え判断し、自分の道を自分で切り拓いていきたいものですね。

さて、長々と書きましたが、

いろいろと考えるというのも大切ですが、

「行動する」ということに焦点を置くことも大事だと思います。  
悶々としていたことが晴れてきたり、新たな道が見えたりすることがありますね。

一つのことに集中すると分かることもありますが、周りがみえなくなることもあります。  
むしろ、ぼやっとしてみると、全体がみえてきて、わかることもあります。  
また、一時的に考えるのをやめると、ふとしたときにひらめくこともあります。

人には言えない悩みは、誰もが抱えていると思います。

悩むことをマイナスイメージで捉えがちですが、そうではないと考えたいです。  
悩みは、自分の人生の糧となると信じて、歩んでいきたいものですね。